

科目	環境水工学II (Environmental Hydraulic Engineering II)		
担当教員	柿木 哲哉		
対象学年等	都市工学科・4年・前期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	D-1(100%)	JABEE基準I(1) (b)
授業の概要と方針	本講義は海岸で生じる海の波や流れなどの自然現象の発生機構ならびにその制御法について学習する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【D-1】近年の海岸行政の変化を説明し、今後の海岸のあり方を説明できる。		近年の海岸行政の変化を説明し、今後の海岸のあり方を説明できるか中間試験で評価する。
2	【D-1】災害となりやすい外力である高潮や津波の発生機構やそれに対する対処を説明できる。		災害となりやすい外力である高潮や津波の発生機構やそれに対する対処を説明できるか中間試験で評価する。
3	【D-1】海岸に設置されている構造物を設計する際の外力(波力)について説明できる。		海岸に設置されている構造物を設計する際の外力(波力)について説明できるか定期試験で評価する。
4	【D-1】海浜地形の特徴、漂砂移動・海浜変形の機構を説明できる。		海浜地形の特徴、漂砂移動・海浜変形の機構を説明できるか定期試験で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験100%として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均とする。合格点は100点満点で55点以上とする。		
テキスト	「海岸工学」：平山ら（コロナ社）		
参考書	「海岸工学」：服部昌太郎（コロナ社）		
関連科目	海岸工学，水辺環境学		
履修上の注意事項	特になし		

